

**地元和歌山の魅力が詰まったバウムクーヘン**  
**『ぱんだの手むきみかんバウム 近大みかん使用』販売開始！**  
**2022年4月21日（木）～**



アドベンチャーワールド（和歌山県白浜町）は近畿大学（大阪府東大阪市）との産学連携の一環として、近畿大学附属湯浅農場（和歌山県有田郡湯浅町）が栽培する「近大みかん」を使用したバウムクーヘン『ぱんだの手むきみかんバウム 近大みかん使用』を2022年4月21日（木）より販売いたします。「近大みかん」の加工は、おかし工房SAWA（和歌山県海南市）で行われ、果実を一つずつ丁寧に手剥きしています。

和歌山の魅力が詰まったバウムクーヘンをぜひお楽しみください。

『ぱんだの手むきみかんバウム 近大みかん使用』について [https://youtu.be/y\\_GYI8sGbaA](https://youtu.be/y_GYI8sGbaA)

みかんの産地で有名な和歌山県有田郡湯浅町に位置する近畿大学附属湯浅農場では、宮川早生・林温州という品種の「近大みかん」を栽培しています。「近大みかん」は、魚系の有機肥料を使用して栽培され、通常よりも1本1本の木の間隔を広く取ることで日当たりを良くし、太陽の恵みをたっぷり浴びた風味豊かなみかんです。2021年11月15日から12月18日まで近畿大学農学部農業生産科学科の3年生約30名が、みかんの色づきを一つひとつ確認しながら、はさみで丁寧に収穫しました。この農場実習を通じて、みかんの知識を学びながら栽培者の苦勞を知り、果実一つひとつのありがたみや大切さを学んでいます。

その「近大みかん」を使用し、『ぱんだの手むきみかんバウム 近大みかん使用』を製造しました。商品の製造にあたり、「近大みかん」の加工は地元の就労支援事業所、おかし工房SAWAで行われました。果実を一つずつ丁寧に手剥きし、加圧低温濃縮をした果汁を贅沢に使用したバウムクーヘンは、「近大みかん」の爽やかな風味をお楽しみいただけます。

販売開始：2022年4月21日（木）

販売価格：1,400円（税込）

内容量：1箱4個入り

販売店舗：アドベンチャーワールド内ギフトショップ AW店 / シンビオーシス店

### ■近畿大学との共同研究について

2017年3月、世界で初めてクロマグロの完全養殖に成功した近畿大学（大阪府東大阪市）とアドベンチャーワールドを運営する株式会社アワーズ（大阪府松原市）がタッグを組み、展示・希少動物の繁殖のための共同研究をはじめとする産学連携に関する協定を締結しました。

### ■近畿大学附属湯浅農場について <https://www.kindai.ac.jp/farm/>

近畿大学附属湯浅農場は、紀伊半島西部海岸の中央部にある“有田みかん”の本場、さらに醤油発祥の地として、全国的に有名な和歌山県有田郡湯浅町に立地しています。マンゴーなど熱帯果樹類の栽培研究や、柑橘類の品種を系統保存すると同時に機能性を見出す薬用利用の研究などに取り組んでおり、研究者や農業従事者からも注目を集めています。また、学生実習や卒業研究の場としても利用されています。

### ■おかし工房SAWAについて <http://sawa-wakayama.com/index.php>

おかし工房SAWAは、障がいをもつ方の働きたい想いと働く力を支える就労支援事業所です。バウムクーヘンや焼洋菓子の製造販売を通して、地元和歌山の素材を使い地域に貢献すること、障がいのあるないに関わらず誰もが働けるおかし工房づくりを志し、一日一日を大切にお菓子作りに取り組んでいます。



### ○アドベンチャーワールド「SDGs宣言・パークポリシー」 <https://www.aws-s.com/parktheme-sdgs/>

アドベンチャーワールドは、「ここにスマイル 未来創造パーク」として、すべての生命にSmile（しあわせ）が溢れる豊かな未来の地球の姿をパークで体現します。パークという“小さな地球”を通して、関わるすべての人の人生が豊かになるように、動物たちの生命がずっとつながっていくように、自然や資源が循環し再生するように、未来のSmileを創り続けていきます。

### OSDGsについて

SDGsとは「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」のことです。社会が抱える問題を解決し、世界全体で2030年をめざして明るい未来を作るための17のゴールと169のターゲットで構成されています。2015年9月、ニューヨーク国連本部において193の加盟国の全会一致で採択された国際目標です。

